

# 豊田民報

3月議会

ラリ！大型開発推進の  
一方で市民には負担増

根本議員は、3月議会の討論で令和7年度豊田市一般会計予算や議案について、討論をおこないました。主な内容を紹介します。

全体として、令和7年度も、民間主催であるラリ！選挙権に豊田市が主催者として関わり続け、大型イベント中心に多額の税金を投入し続けることを指摘。ラリ！頼みでなく、今一度、山村振興、山村における教育・保育環境の維持、定住促進、交通安全の推進を図ることを重視すべきです。

## 利便性ばかりを強調するが マイナカード取得を誘導

マイナンバー関連の条例改正では、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づくマイナンバーカードについては、国はスマートフォンへの情報の搭載を可能とする法改正をおこない、また、情報漏洩やカードの偽造への懸念が払しょくされていないにも関わらず、運転免許証のように一体化する必要性の低い機能

◆日本共産党豊田市委員会  
豊田市日之出町一・六・六  
Tel: 三四・四七二  
毎週一回発行

3月定例会市議会では、市長からの76件の議案と2件の議員提出議案、1件の議員提出意見書に対し、日本共産党市議団・根本市議は、このうち、16議案に反対、約80%の60議案、議員提出議案1件、議員提出意見書に賛成しました。主な議案についての各会派の賛否(○×)は表のとおりです。	共産党・根本みはる市議	自民クラブ(28人)	市民フォーラム(国民)(9人)	公明党市議団(4人)	新しい風とよた(3人)
人と動物の共生社会の推進に関する条例の一部を改正する条例…届け出により、飼養者への助言と指導につながることで、飼養者の社会的孤立や経済的な困難を抱える場合は福祉との連携をとり、多頭飼養崩壊を防ぐことが期待される。	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例に反対。…値上げが続く国保税は、子育て世帯への均等割軽減の対象年齢が限定されており、範囲の拡大・軽減割合の拡充が求められる。税率改定により、250万円の年金で暮らすモデル世帯の保険税は、162,800円から8,200円も増え、あい次ぐ物価高騰により市民の暮らしは限界である。	×	○	○	○	○
令和7年度一般会計補正予算に反対。学校トイレ再整備など早期の完了が待たれていた事業が含まれるが、都心環境計画推進基金については、都心環境計画に基づく都心施設整備のうち、豊田市駅整備事業の大規模な市負担額の安定的な財源確保のためとして、基金に36億円積み増すもの。これまでに多額の費用を費やした都心整備の検証が必要。	×	○	○	○	○
令和7年度豊田市一般会計予算に反対。…企業立地奨励補助金、設備投資奨励金では、交付を見込む事業所数が全体製造業に占める割合では、中小企業23事業所は2%にも至らず、一方、大企業分の交付額は7億700万円余で全体の53%を占める規模であることから、大企業に手厚い予算計上。最低賃金について日本商工会議所調査では、2025年度より政府目標どおりの引上げが行われた場合の中小・小規模事業者への影響では「収益悪化により、事業継続が困難、廃業を検討」との回答から、賃上げについての国の支援が見込まれない中、中小・小規模事業者への直接的・抜本的支援が必要	×	○	○	○	○
令和7年度水道事業会計予算に反対。水道料金の値上げは、令和6年度からそのまま継続することから、物価高騰が市民の暮らしに重くのしかかっていることを直視すべき。	×	○	○	○	○
令和7年度下水道事業会計予算に反対。下水道使用料の値上げは「物価上昇に伴う費用の増加や人口減少による使用料収入の減少」を理由としているが、令和7年度の収入見込みは令和6年度とほぼ同額となる上に、値上げにより2億円が市民の負担増となる予算。	×	○	○	○	○
豊田地域医療センター電子カルテ等システムの購入に反対。…国の医療DXにむけて「電子カルテ情報の外部化・共通化・標準化」のシステムの整備。	×	○	○	○	○

を取り込み、常に携帯することを余儀なくさせ、マイナンバーカードの任意取得の原則に反し国民を誘導するもので

あり問題。利便性を理由に加速度的な利用促進を図るものであり、これに伴う条例改正であり、反対。



こちらからも  
ご覧いただけます

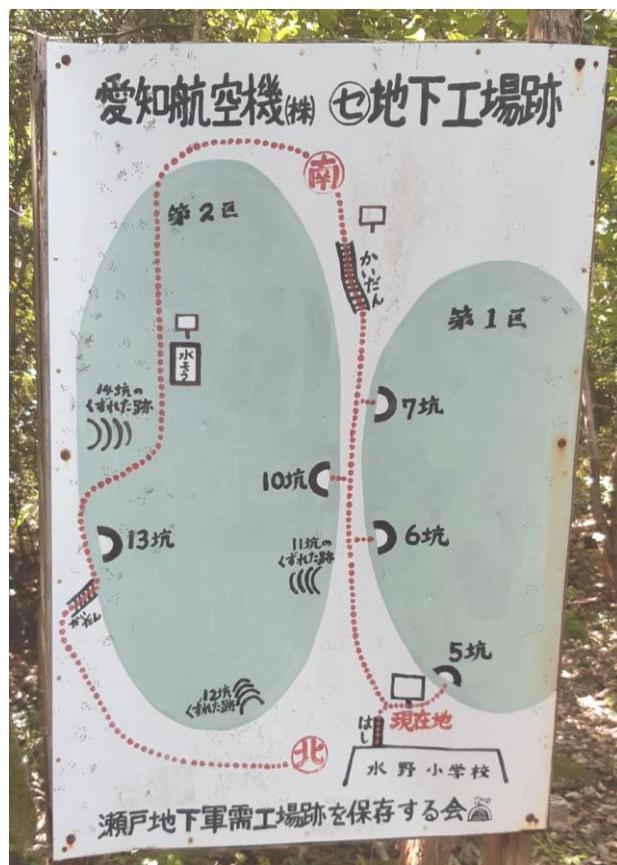
2025 平和講座

瀬戸市の戦争遺跡を訪ねて

今年の平和リレー講座は、4月29日、瀬戸市の戦争遺跡を訪ねました。風の強い日でしたが好天に恵まれ、日進市からの参加者を含めた16人が参加しました。

はじめに「瀬戸軍需工場跡を保存する会」の寺脇さんから、瀬戸市の戦争遺跡全般について、これまでの保存活動についてのお話を聞きました。

その後歩いて「愛知航空機地下疎開工場跡」を4カ所ほど回りました。当時はたくさんの坑があったようですが、地盤が崩れやすく保存もすっかりできていないため、どんどん穴が埋ま



つてきているようです。

中はがらんどろで暗く不気味でした。落ち葉に足を滑らせないように慎重に、森の中を歩きました。

午後からはまず「昭和演習天皇統監所記念碑」を見学。聖カピタニオ女子高校の片隅に、ひっそりと建っていました。戦争中は高台になっていて、天皇を子どもたちが整列して見上げ、目の前で軍事訓練もしたか。恐ろしい時代でした。次は陶製の梵鐘を見学。供出させられた梵鐘の代わりに、昨年訪れた名古屋市のお寺では、石で作られた梵鐘を見ました。

瀬戸では、1銭硬貨をはじめ、たくさん代用品が作られ、最後に訪ねた「瀬戸蔵ミュージアム」で、実物を見ることができました。

参加者からは「工場跡は埋まつてきており、周りは樹木が生い茂り、80年の歴史を感じました。戦争がここにあった確かな証拠のためにも、残されていくことを願います(80代)」などの声寄せられました。

今ある貴重な資料や遺跡をしっかりと残す努力と、もっと行政に働きかけていく必要性を痛感しました。(実行委員会寄稿)

日本は核兵器禁止条約に参加を! 原水爆禁止 核兵器のない公正な世界を あいち平和行進

6月2日(月) 午後4時~ 豊田市駅周辺 愛知県県水協・豊田地域原水協

広島・長崎に原爆が投下されてから80年。あの原爆投下でその年のうちに21万人が死亡し、その後も放射能によって被爆者の命が奪われ続けています。被爆者は核兵器の非人道性を訴え、禁止・廃絶を訴えてきました。その訴えが核兵器使用の手を縛り、2017年には国連で核兵器禁止条約が採択され、2024年には日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)にノーベル平和賞が授与されました。

しかし、いまも世界には核兵器が12000発も保有され、核の威嚇が横行し、世界は核戦争の危険に直面しています。今こそ、唯一の戦争被爆国である日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准し、核保有国に禁止条約への参加を呼び掛ける先頭に立つべきです。

核兵器禁止条約は2021年に発効し、核兵器は人類史上初めて違法となりました。この条約に加盟する国は増え続け、締約国会議が開かれ、核兵器にしがみつ়く国々を包囲する流れが広がっています。

核兵器禁止条約 条約採択賛成国 122カ国 署名国 94カ国 批准国 73カ国 63% (2017年7月7日) (2024年9月24日現在)